

製品/サービスの品質と安全性に関する情報を一元管理する体制を整備するとともに、顧客等から寄せられた指摘・問い合わせ等の情報を調査分析し、その結果を適時・適切に情報開示し、経営層をはじめ社内での共有に努める。

正確かつわかりやすい情報提供

検査を行う上で、お客さまである医療機関への正しくわかりやすい情報の提供が求められています。エスアールエルでは、検査結果を正しく伝えるという観点から、患者さまが理解しやすく、かつ担当医師が説明しやすくなるよう配慮しています。例えば2011年から提供している「アミノインデックス技術」を用いたがんのリスクスクリーニング検査に対して、判定結果に解説を加えた資料を提供しています。

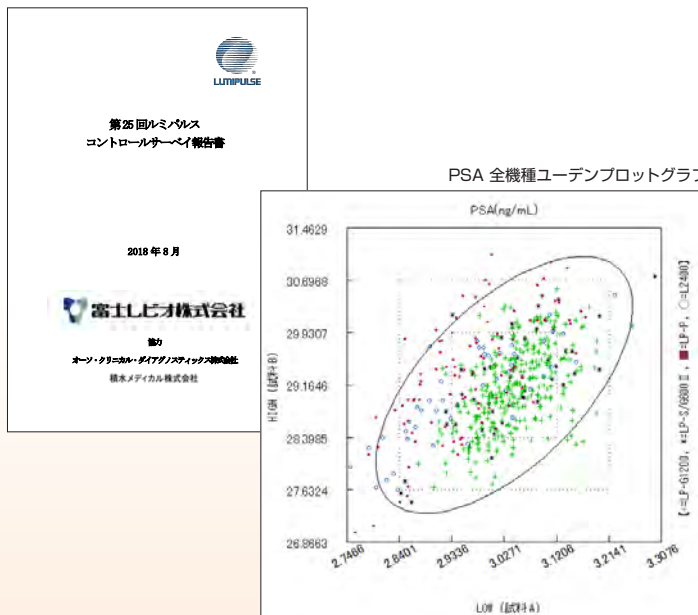
このような情報提供を通じて、より健康で豊かな社会の実現に貢献していきます。



ルミパルス®・コントロールサーベイの実施

富士レビオではルミパルス®システムをご利用いただいている全国の医療機関を対象に、検査精度を確保するためにコントロールサーベイおよび精度管理報告会を毎年実施しています。延べ実施回数は、2018年7月時点で、コントロールサーベイが25回、報告会が24回となりました。ルミパルス®は全国で1,120機が導入されており、内895施設から参加いただいています。今後も、検査室の精度改善に加え、富士レビオの試薬精度の向上に向け、必要な情報開示・提供を積極的に行っていきます。

採用施設全体の
コントロールサーベイ
および精度管理報告
参加率
85%



● コントロールサーベイとは

自施設内で行う「内部精度管理」に対して、他の施設より得られた一定数以上の検査データと自施設のデータを踏まえ比較分析する「外部精度管理」をさします。メーカーが自社の機器を導入している施設ごとの検査精度を向上するために行う精度管理手法です。

【必要な背景】

各施設の検査室では、患者さまに正しい検査結果を出すために日々努力していますが、検査業務を行うための環境や条件が必ずしも一定でないことから、同一の検査項目ごとに多少の差異が発生し得ます。

【効果】

外部精度管理を通じて、施設間でのデータ比較を行うことで、施設内の検査環境・条件の改善と試薬の精度向上を実現します。